



□◆□親子遠足のお知らせ□◆□

日 時 : 6月30日(火) *雨天順延7月2日(木) 集合 10:00 *時間厳守

と ころ : 円山動物園(札幌市中央区宮ヶ丘3番地1)

持 ち 物 : 園児(水筒) 保護者(昼食・飲み物・オヤツ・レジャーシート)

- ①お子さんを担任に預けた方はチケットを購入され入場して下さい。年間パスポートを持っている方の入場料は不要です。参加される保護者の方の人数制限はありませんが、入場料は家庭負担となります。
- ②入場された保護者の方は第一レストハウス付近にクラスの旗が立っていますので、そちらでおくつろぎいただきながらクラスの懇親を深めて下さい。(MAP番号⑨⑩⑪)
- ③園児はクラス毎に園内を見学した後、保護者の方の元に戻りランチタイムとなります。 11:30昼食予定
- ④つぼみぐみの園児と保護者の方は担任と一緒に園内を見学します。担任の引率に従って行動して下さい。
- ⑤遠足のお楽しみ「オヤツ」の金額が保護者の方の判断にお任せします。
- ⑥園児の服装は体育服とクラスカラー帽子です。当日の天候・気温に合わせて、長袖・長ズボン・Tシャツ・短パンを組み合わせて下さい。
- ⑦解散は13:00を予定しています。解散後は自由行動になります。親子遠足が行われた場合の預かり保育はありませんのでご留意下さい。
- ⑧雨天順延の場合、6月30日(火)は通常保育になります。給食の提供はありませんのでお弁当を持たせて下さい。オヤツは不要です。雨天のため順延する場合は7:00を目処にCODOMONでお知らせします。
- ⑨6月30日(火)に遠足を行った場合、7月2日(木)は通常保育となりますが、給食の提供はありませんのでお弁当を持たせて下さい。この場合は預かり保育はあります。

*年間行事予定表を確認して下さい。



☆☆☆パパGON ママGON リレー出場者募集☆☆☆

運動会恒例の「パパGON ママGON リレー」に出場していただける保護者の方を募集します。真剣勝負あり、笑いあり、時にはユニークな仮装で会場を盛り上げる…子ども達も楽しみにしている人気のプログラムです。

各クラスより、パパ3名ママ3名、補欠各1名を募集します。走る速さより、子ども達のために一緒に運動会を楽しんで下さる気持ちが何よりです。

「ちょっと恥ずかしい…」という方も、出てみると「意外と楽しい!」のがこのプログラムです。保護者の皆さんの温かいご参加をお待ちしております。親子遠足で子ども達が園内を見学している間の懇談の席で出場者を決めていただけると幸いです。

卒園児が帰って来る日「ちびっ子先生」

5月末から6月の中旬にかけて市内の小学校では運動会が行われます。多くの小学校で土・日曜日に開催されるので翌週の月曜日が代休となり学校がお休みになりますね。先週、今週と1年生から6年生までの卒園児達が幼稚園に懐かしい顔を見せに来てくれました。そんな卒園児達を親しみを込めて「ちびっ子先生」と呼んでいます(笑)

久しぶりの幼稚園、「おはようございます!」と元気に挨拶で職員室に入ってくる子もいれば、少し照れくさそうに顔をのぞかせる子も… 背丈がグンと伸びて、顔つきも少し大人びて、ついこの間まであの体操服を着ていた姿を思い出すと、教師達も思わず目を細めてしまいます。高学年になると、男の子も女の子もすっかり頼もしくなり、中には教師達の背丈に追いつきそうな子もいましたよ(笑)

この日の卒園児達は、ただ遊びに来るわけではありません。「ちびっ子先生」の名の通り、幼稚園の先生のお手伝いをしながら、職業体験の一環として、後輩達の面倒を見るという大切な役割があります。机を出したり、しまったり、教材の準備をしたり、活動後の後始末を手伝ったり。読み書き数字の時間には、教師達に代わってプリントの丸付けも… 後輩達に声をかける姿は、まさに“小さな先生”です。

紙芝居や絵本を読んであげる姿もあります。自分が幼稚園の頃に先生に読んでもらったように、今度は自分が小さい子ども達の前に立って読む側になる。ページをめくる手つきや、少し恥ずかしそうな声にも、成長の跡が感じられましたよ(笑)

体操の時間には、逆立ちや跳び箱、縄跳びのコーチ役として活躍してくれました。白ゆりで育った卒園児達だからこそ、後輩達がどんなところでつまずき、どんな声をかけると頑張れるのかを、どこか感覚で分かっているようです。「大丈夫、できるよ」「手をもっと強くついてごらん」そんな一言が、小さな子ども達のやる気にも火をつけます。もちろん、遊びの時間も大活躍です。鬼ごっこ、おままごと、ボール投げ… 小さな子ども達にとって、小学生のお兄さん・お姉さんは憧れの存在です。少し年上の子が本気で遊んでくれるだけで、子ども達の表情は明るくなりますね。

給食の準備や後始末、2歳児の子ども達の排泄のお手伝いやオムツ替えまで、できる範囲で本当にたくさんのごを手伝ってくれます。最初は「先生、何をすればいいですか?」と少し緊張していた卒園児達も、時間が経つにつれて自然と小さい子のそばに寄り添い、手を貸し、声をかけられるようになります。

しかし、幼稚園の先生体験は、なかなか楽なものではありません。保護者の方のお迎えに来る頃には、卒園児達もすっかりクタクタに(笑)

子ども達一人ひとりに目を配り、手を貸し、声をかけ、次の活動の準備をする。幼稚園の一日は、子ども達の笑顔の裏側で、たくさんの動きと気配りに支えられています。そのことを、卒園児達が体で感じてくれるのも、この「ちびっ子先生」の大きな意味の一つです。

数年前までは、お兄さん・お姉さんに手伝ってもらった子ども達が、今度は小さな後輩達を助ける側になる。白ゆりで大切にしてきた「育ち合い」の心が、卒園後もこうして自然に受け継がれていることを感じます。

白ゆり幼稚園は、在園している時だけの場所ではありません。卒園してからも「ただいま」と戻って来られる場所であり、子ども達の成長をいつまでも見守る場所でありたいと思っています。

在園児の保護者の皆さんには、我が子の少し先の未来の姿として、卒園児の保護者の皆さんには、お子さんが今も白ゆりと繋がりを、後輩達のために力を発揮している姿として、この「ちびっ子先生」の一日を、温かく感じていただければ嬉しいです。

卒園児達がいつまでも白ゆりを好きでいてくれること! そして、白ゆりに帰って来てくれること!
私達教師にとって何よりの喜びです。